

保護者事業所見学を実施しました（7月3日・17日）

『yoca yoca』での様子



『ジット会たいよう』での様子



本校の保護者を対象に事業所見学を行いました。今年度は7月3日（木）、7月17日（木）と2日間（午前の部・午後の部）に分けて実施しました。両日、マイクロバスを借り切って1日目は、生活介護の事業所を4か所（yoca yoca、コスモス通所、おひさま、みなぼし）、2日目は就労系の事業所3か所（ジット会たいよう、POCCO ワークス、ぎんが工房）を見学して来ました。2日間あわせて小学部から13名、中学部から7名、高等部から8名の計28名の保護者の参加がありました。今回の事業所見学に対して興味をもっていただき、多くの皆さんに御参加いただいたことを係として感謝いたします。見学時は、連日の猛暑と重なり大変暑い日でしたが、参加された皆さんは熱心に事業所の様子を御覧になり、事業所の職員にたくさん質問をされていました。初めて事業所を訪れたという方も少なくありませんでしたが、お子さんの高等部卒業後の生活を想像するための一助として、少しでもお役に立てたなら幸いです。夏休みを挟み、見学日から少し経過しましたが、当日に気になった点やその後、御質問などがありましたら今からでも遠慮なく進路係まで問い合わせください。保護者事業所見学は来年度も引き続き企画して参りたいと思います。来年度の見学に向けて、御意見、御要望などがありましたら、担任を通じて進路係までお伝えください。

夏休み中の事業所見学について（高等部）



高等部では、夏休みを利用して個別に事業所見学を実施しているケースがありますので、御紹介します。秋季産業現場等における実習（9/29～10/10）に向けて、高等部では夏休み前に進路懇談を実施し、その中で実習先の希望について聞き取りを行いました。この進路懇談を通じて、生徒や保護者の皆さんには、生活上のニーズや特性、送迎可能な範囲などの条件を整理しながら、数ある事業所（場合によっては企業など）の中から、実習先として希望する場所を考えていただきます。

高3生はこの時期には進路の方向性が固まっていることが多いと思いますが、高1～2年生は、まだ実習先として気になっている場所を全て見定めるには至っていないことが多いです。

す。実習先の候補として名前は挙げたものの、実際にはその事業所に行ったことがない、というケースが出てきます。（他の特別支援学校では、事前の見学を経ずに直接現場実習に至るケースもありますが、本校では可能な限り実習前の見学をお願いしています。それは、車椅子利用に伴う施設設備上の確認事項、健康維持や体力面での配慮事項、食事や医療面のことなど、実習先と事前に擦り合わせておかなければならない点が他校の生徒よりも多いためです。ホームページやパンフレット上の記載はないのに、「車椅子の方は対象外」や「建物2階が事業所でエレベーターがあるが大変狭い」などといった事業所の実情が見学に行ったり、直接問い合わせたりして明らかになるケースがあります。）

生徒や保護者の皆さんが納得して、安心して現場実習に臨むことができるように、また事業所側も安心して生徒を迎え入れられるように、事前の見学を通じてお互いを知る機会が重要だと考えます。高等部保護者の皆さんにはその分、御負担をおかけしますが、見学の意図を御理解いただき、御協力いただいています。この夏休みも、高1～2年生を中心に、多くの皆さんが事業所を見学されました（見学時は保護者と本人のみの場合もありますが、必要によっては担任や進路担当、計画相談さんや基幹相談支援センターの職員さんも同行させていただいています）。見学による情報交換を経て、再度実習先として、将来の進路先としてどうかを検討しております。

秋季産業現場等における実習を目前に控えた夏休みは、こうした見学の格好の機会とはなりますが、高等部では夏休みに限定せず、必要が生じた時には随時見学の機会を設けるようにしています。お子さんの将来にかかわる重要事項ですので、焦らずじっくりと見たり、比べたり、考えたりできるように、早めに進路係まで御相談いただけるようお願いいたします。進路の問題は生徒や保護者だけで悩むものではなく、私たち教師も（計画相談員や事業所の方々も）一緒に背負い、考えていくものだと思います。決して焦る必要はありませんので、安心していつでも担任や進路係まで声をかけください。



秋季産業現場等における実習が始まります



9月29日（月）～10月10日（金）の期間中、高等部では秋季産業現場等における実習（現場実習）を実施します。参加日数や利用する事業所数は個別に設定していますが、今季は21名の生徒が実習に臨み、計21箇所の事業所を利用します。21事業所の内の3箇所はこれまで甲府支援学校で実習をしたことがない新しい事業所となります。美術館のレストランでのホール作業や一般の事務員と混ざってのパソコンを使った事務作業、宿泊を伴うグループホームでの体験実習など、生徒が将来の夢に向かって自分の好みや得意不得意を考慮しながら実習先を「選ぶ」ということがしやすくなってきたように感じています。どの生徒がどの事業所に行き、どんなねらいで、どんな活動（作業）に取り組んでいるのかといった情報を、実習期間中は児童生徒玄関にて掲示しています。また、実習報告会（10/17）以降は、各事業所における実習の成果と課題を木工室前の進路掲示コーナーにて掲示する予定です。学校にお越しの際は、ぜひ見ていただき、卒業後の進路選択の参考としてください。



本校ブログにも今回の進路だよりや進路情報が載っています。
ぜひ御覧ください。